

Windowsマシンの各種設定

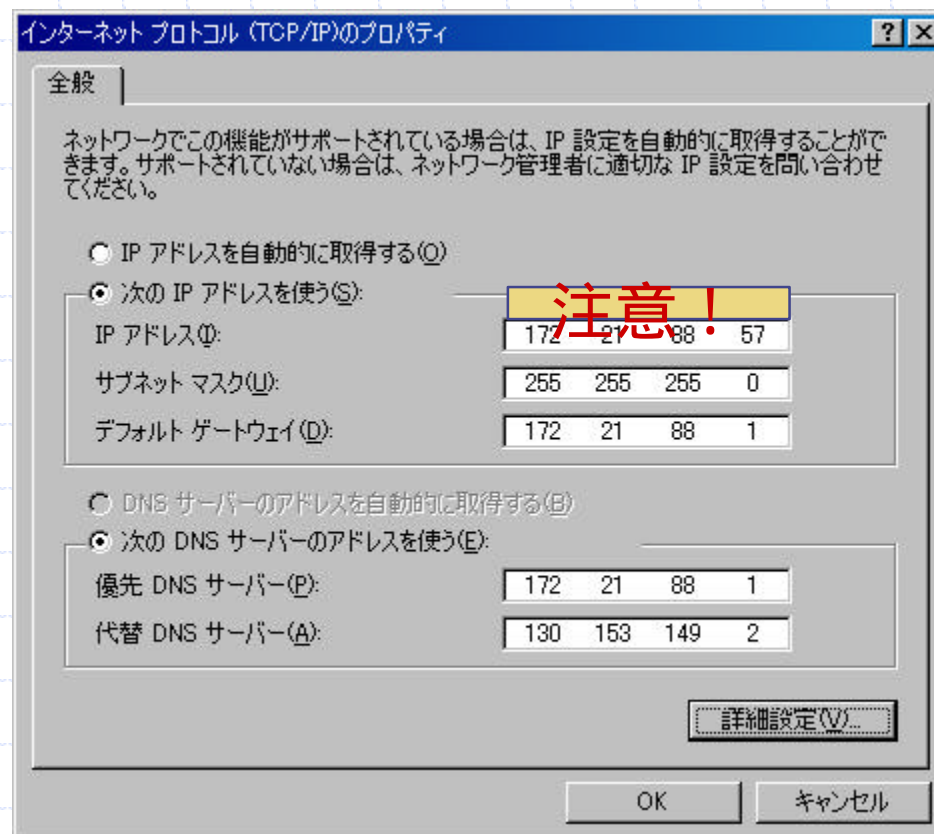
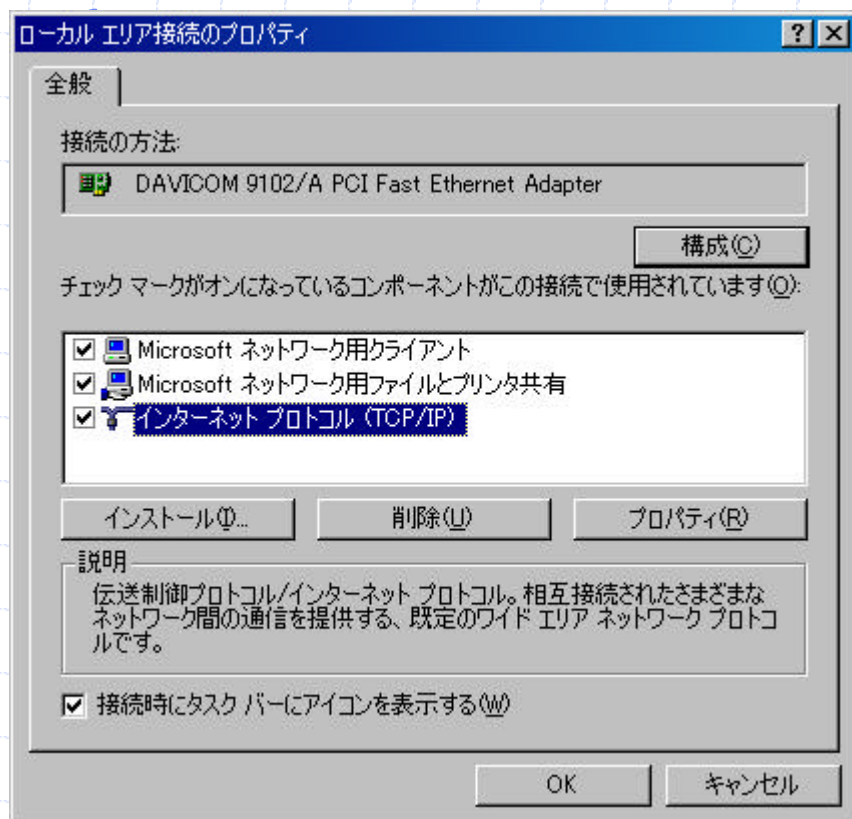
ここでは、OSをWindows2000とした場合の各種設定方法について説明します。

この Windows PCの設定は、private address専用のものです。

研究室以外の人設定しても動きません。

またこの情報は研究室以外の人が見ることを望んでいません。

ネットワークの設定1



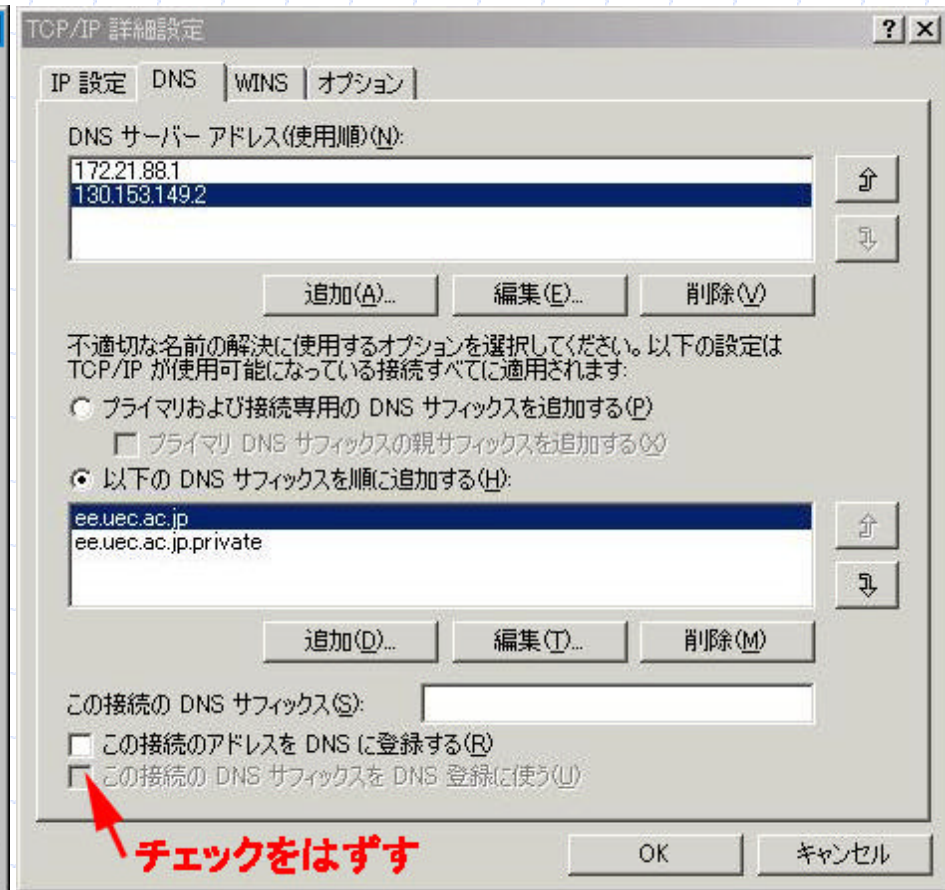
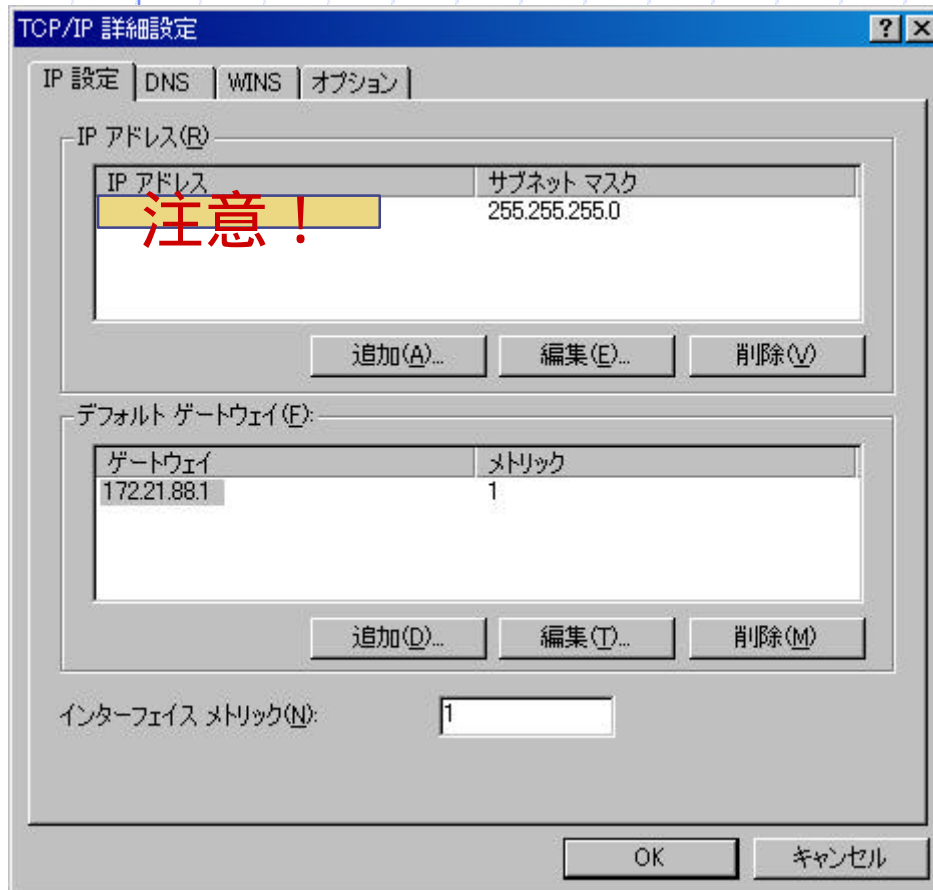
デスクトップ上のネットワークの
プロパティより
TCP/IPのプロパティを開く

IPアドレス以外の設定は上記の通り。
IPアドレスについては、管理者に問い
合わせて下さい。
詳細設定をクリック。

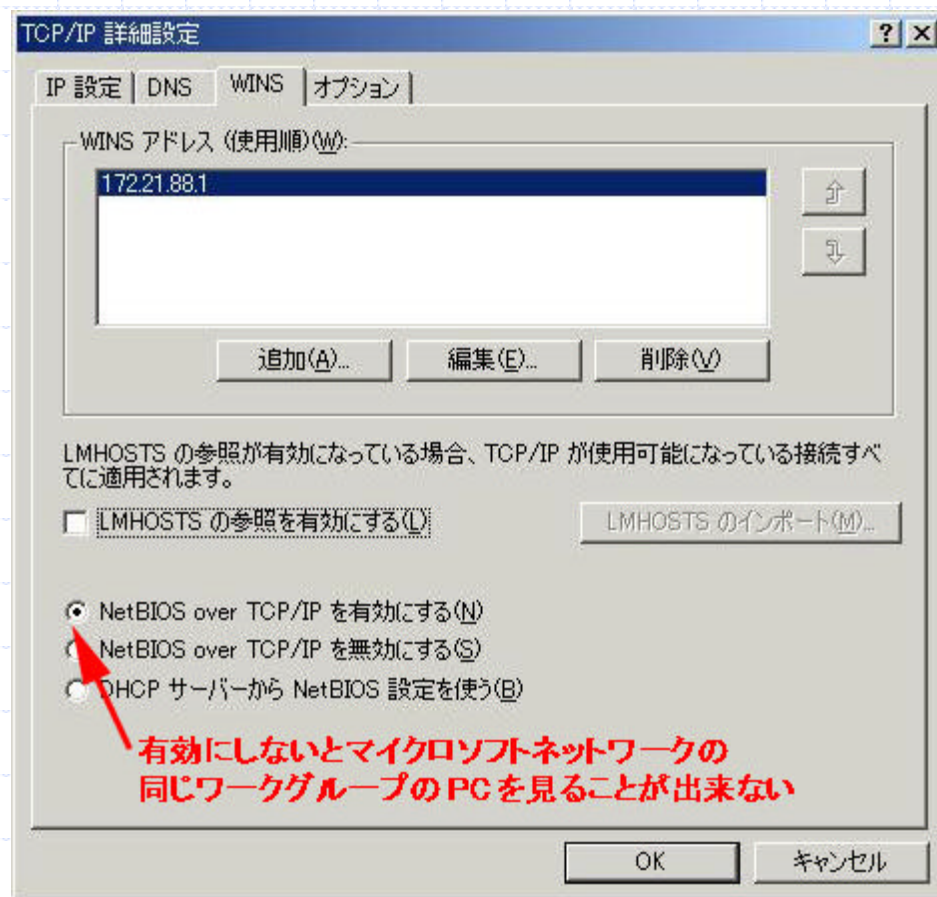
バーを選択して、それぞれ以下の設定とする。

ネットワークの設定2

IPアドレスは、管理者に教わったものが入力されていること。



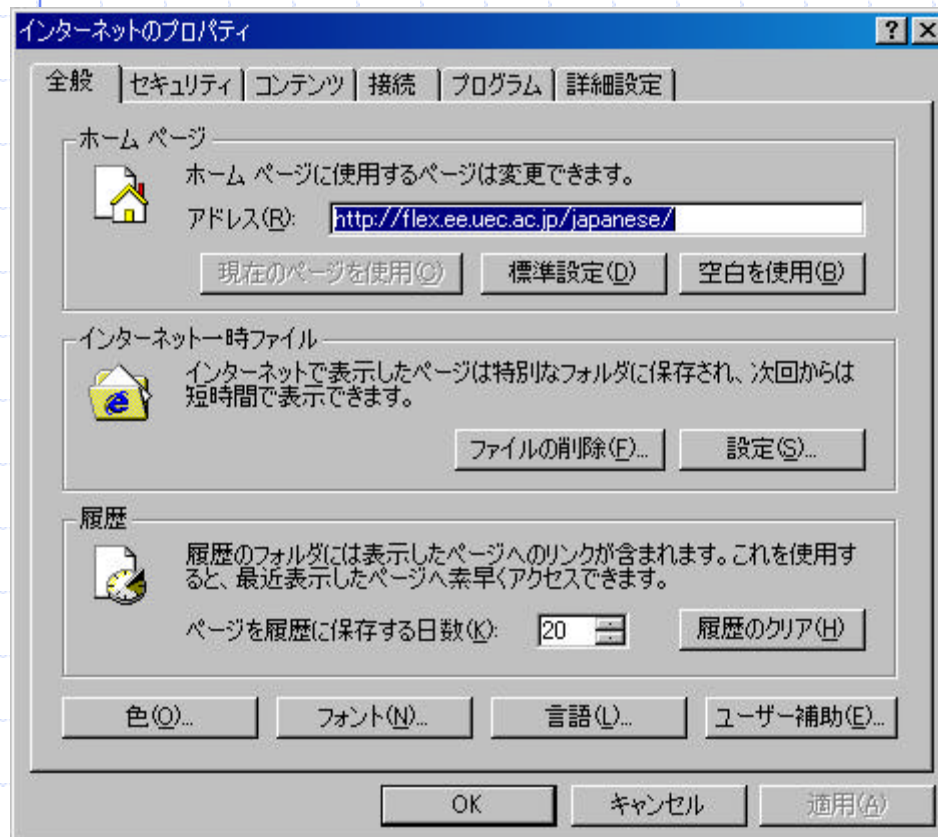
以下の設定になっていることを確認。



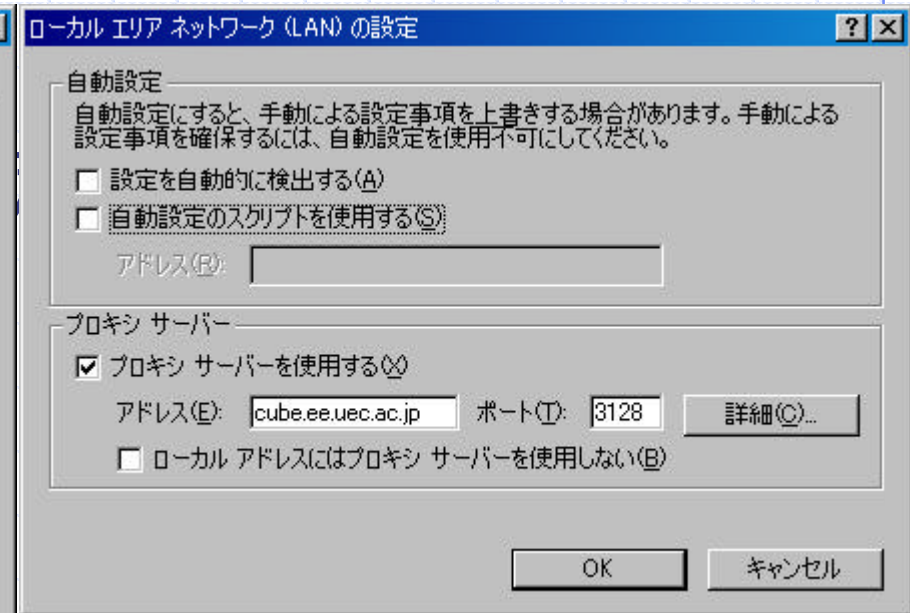
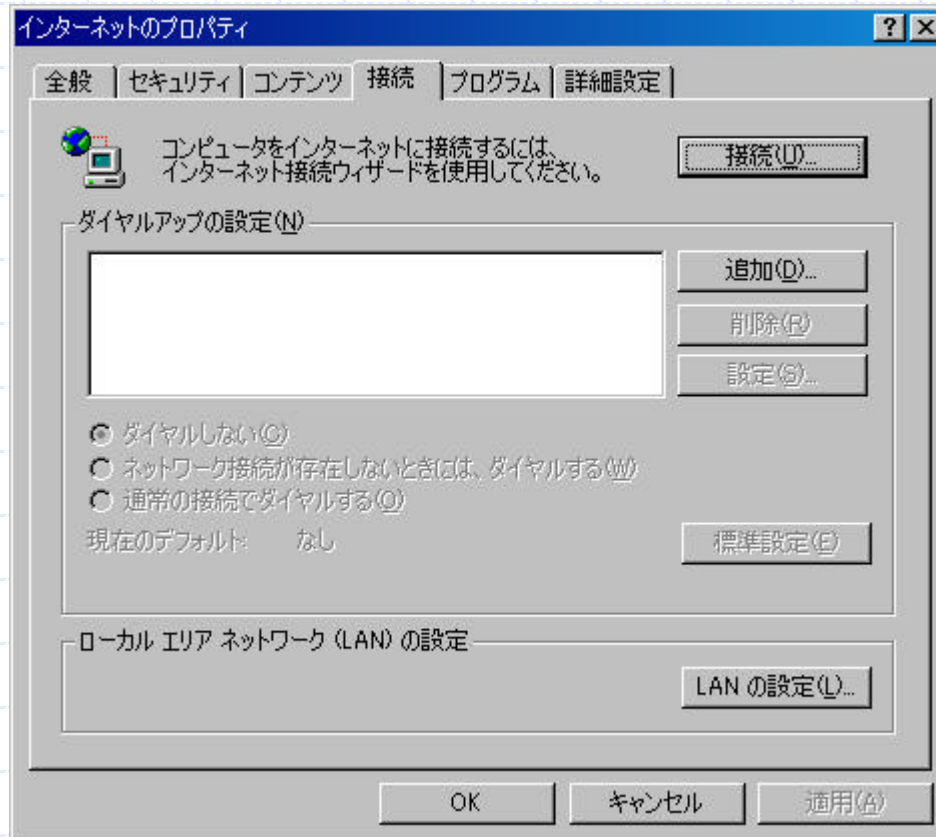
以上で、ネットワークの設定は完了

インターネット(IE)の設定1

デスクトップのInternet Explorerのアイコンの上で左クリックして、プロパティを選択。



ホームページを
flex.ee.uec.ac.jp/japanese
として、「適用」をクリック。
研究室のWebをホームページ
とする。



ウィンドウ上のバーから「接続」を選択し、「LANの設定」を選択

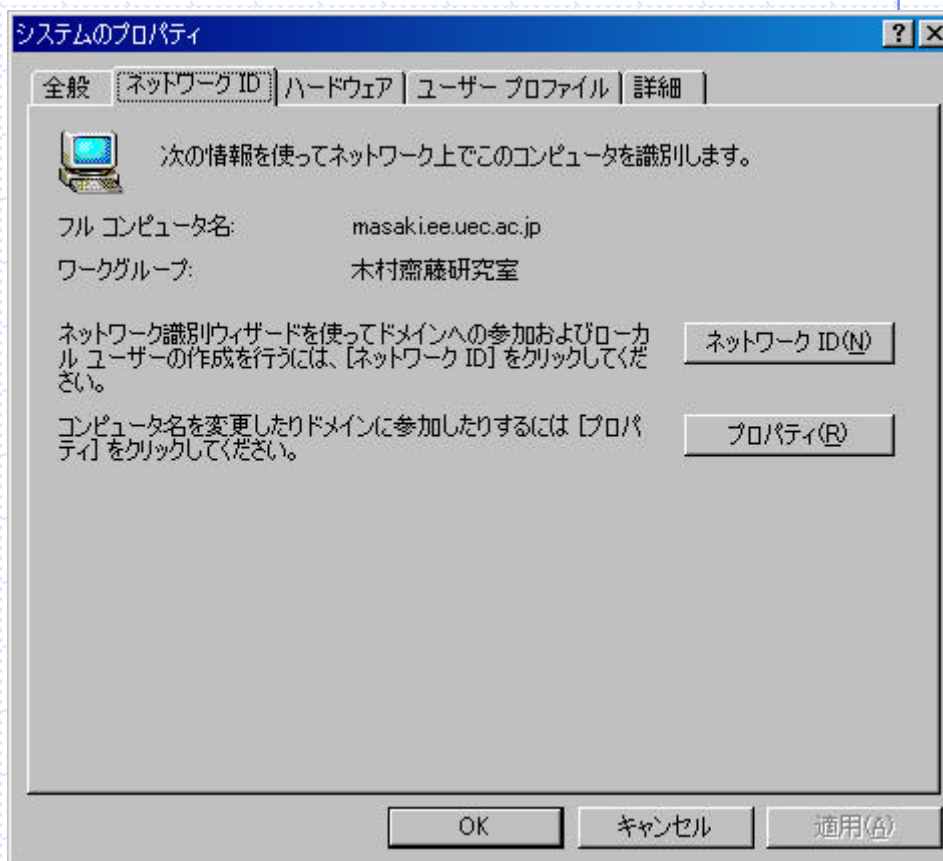
上記の設定の通りに設定する。

以上でインターネット(I)の設定は完了。

ワークグループの参加1



デスクトップ上の「マイコンピュータ」の上で右クリックして、プロパティを選択する。



ネットワークIDのバーを選択して、プロパティを選択

識別の変更

このコンピュータの名前とメンバーシップを変更できます。変更するとネットワークリソースへのアクセスに影響する可能性があります。

コンピュータ名(C):
masaki

フル コンピュータ名:
masaki.ee.uec.ac.jp

詳細(M)...

次のメンバ

ドメイン(D):

ワークグループ(W):
木村齋藤研究室

OK キャンセル

DNS サフィックスと NetBIOS コンピュータ名

このコンピュータのプライマリ DNS サフィックス(P):
ee.uec.ac.jp.private

ドメインのメンバーシップが変更される時にプライマリ DNS サフィックスを変更する(C)

NetBIOS コンピュータ名(N):
MASAKI

この名前は、古いコンピュータやサービスとの間の操作に使用されます。

OK キャンセル

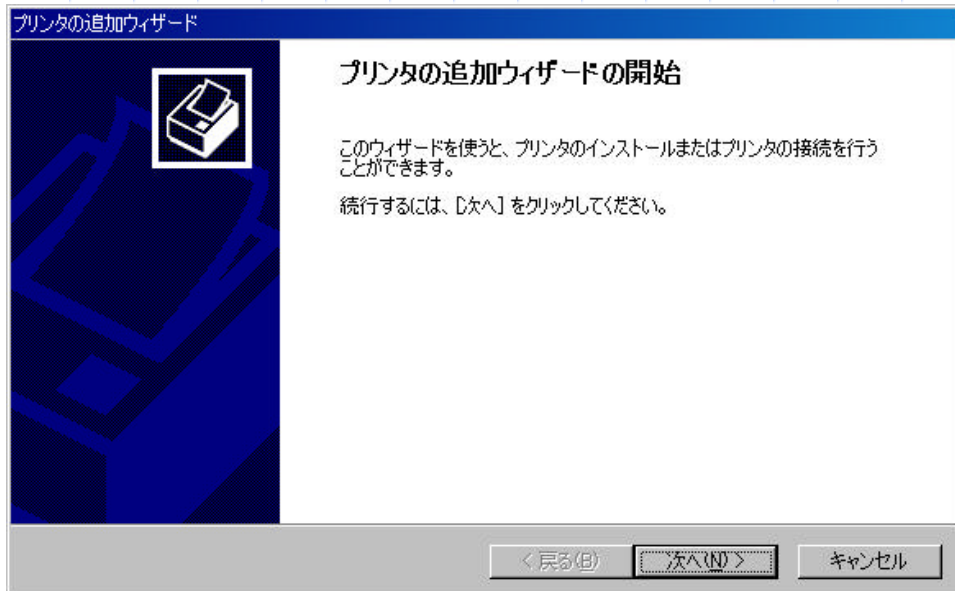
ee.uec.ac.jp.private
とDNSサフィックスを入力。
あとは、OKで完了。

コンピュータ名は、
メールアドレスと同じにする。
ワークグループは
木村齋藤研究室と入力
齋藤という字に注意！
難しい方の齋藤です。
更に詳細をクリック。

以上でワークグループへの
参加は完了

プリンタの設定1

コントロールパネルのプリンタより、プリンタの追加を選択



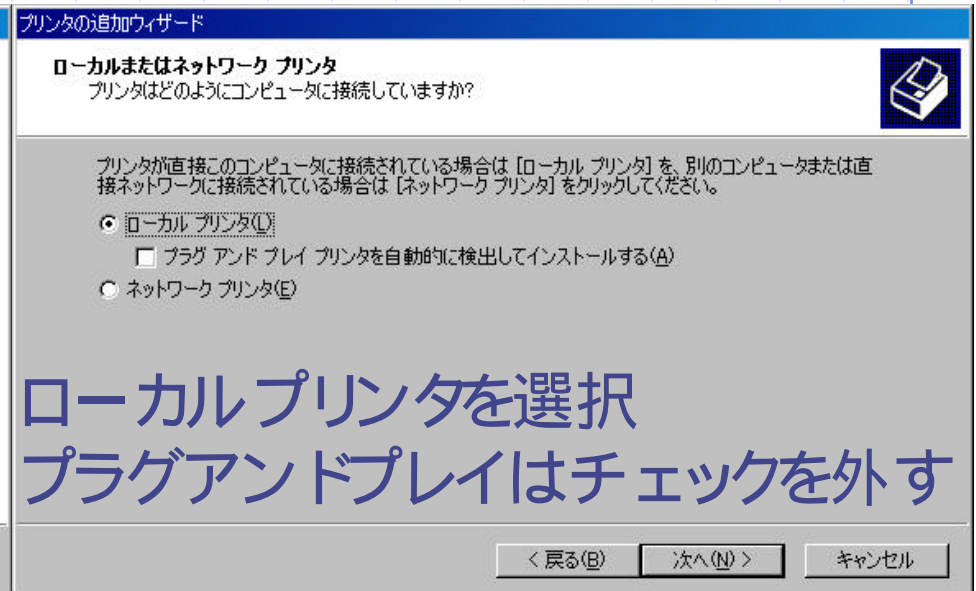
プリンタの追加ウィザード

プリンタの追加ウィザードの開始

このウィザードを使うと、プリンタのインストールまたはプリンタの接続を行うことができます。

続行するには、[次へ] をクリックしてください。

<戻る(B) 次へ(N) > キャンセル



プリンタの追加ウィザード

ローカルまたはネットワーク プリンタ

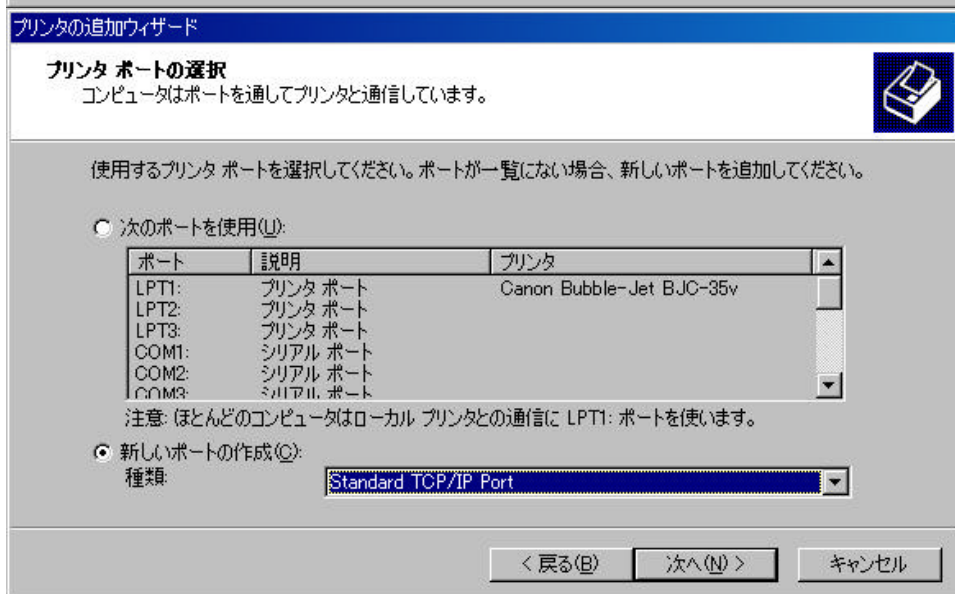
プリンタはどのようにコンピュータに接続していますか?

プリンタが直接このコンピュータに接続されている場合は [ローカル プリンタ] を、別のコンピュータまたは直接ネットワークに接続されている場合は [ネットワーク プリンタ] をクリックしてください。

- ローカル プリンタ(L)
 - プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする(A)
- ネットワーク プリンタ(E)

ローカルプリンタを選択 プラグアンドプレイはチェックを外す

<戻る(B) 次へ(N) > キャンセル



プリンタの追加ウィザード

プリンタ ポートの選択

コンピュータはポートを通してプリンタと通信しています。

使用するプリンタ ポートを選択してください。ポートが一覧にない場合、新しいポートを追加してください。

次のポートを使用(L):

ポート	説明	プリンタ
LPT1:	プリンタ ポート	Canon Bubble-Jet BJC-35v
LPT2:	プリンタ ポート	
LPT3:	プリンタ ポート	
COM1:	シリアル ポート	
COM2:	シリアル ポート	
COM3:	シリアル ポート	

注意: ほとんどのコンピュータはローカル プリンタとの通信に LPT1: ポートを使います。

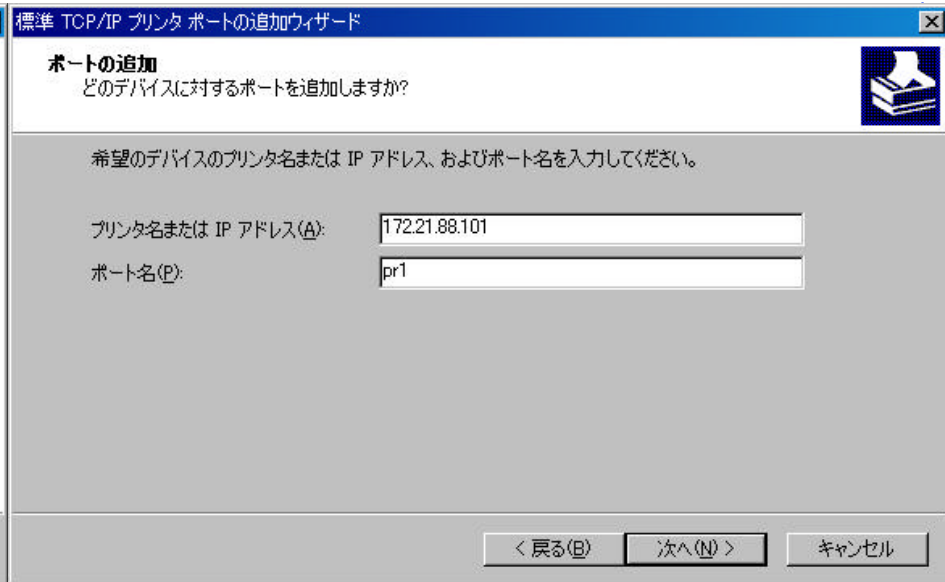
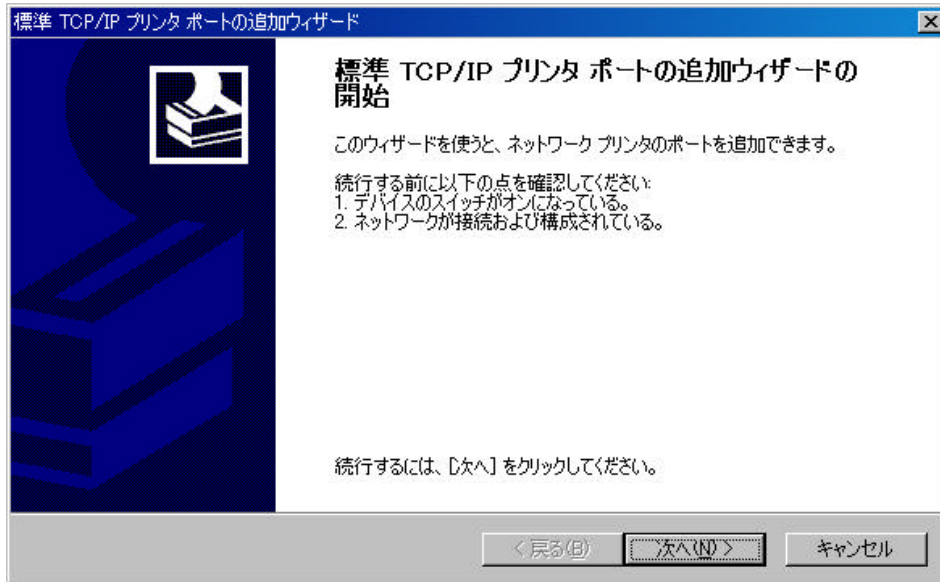
新しいポートの作成(C):

種類: Standard TCP/IP Port

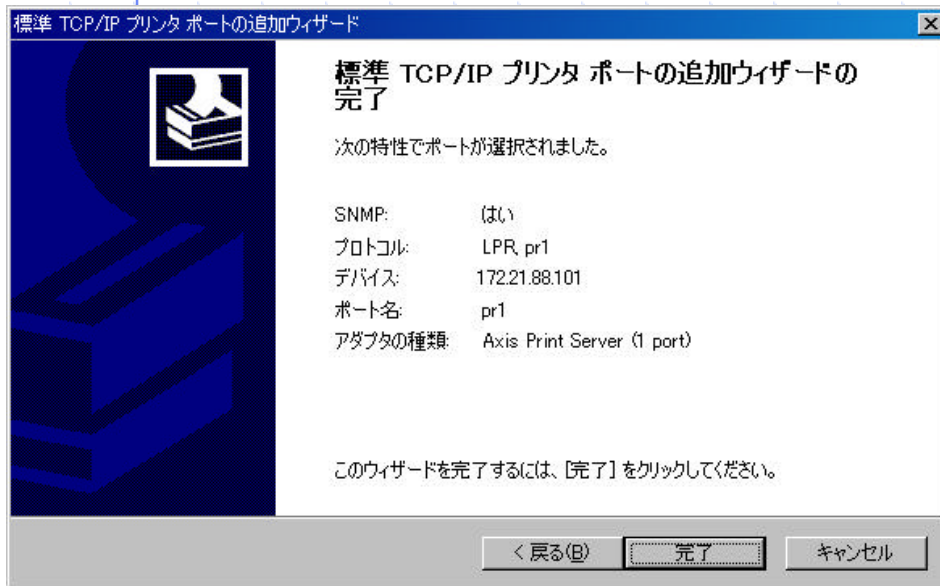
<戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

ローカルプリンタを選択
プラグアンドプレイはチェックを外す

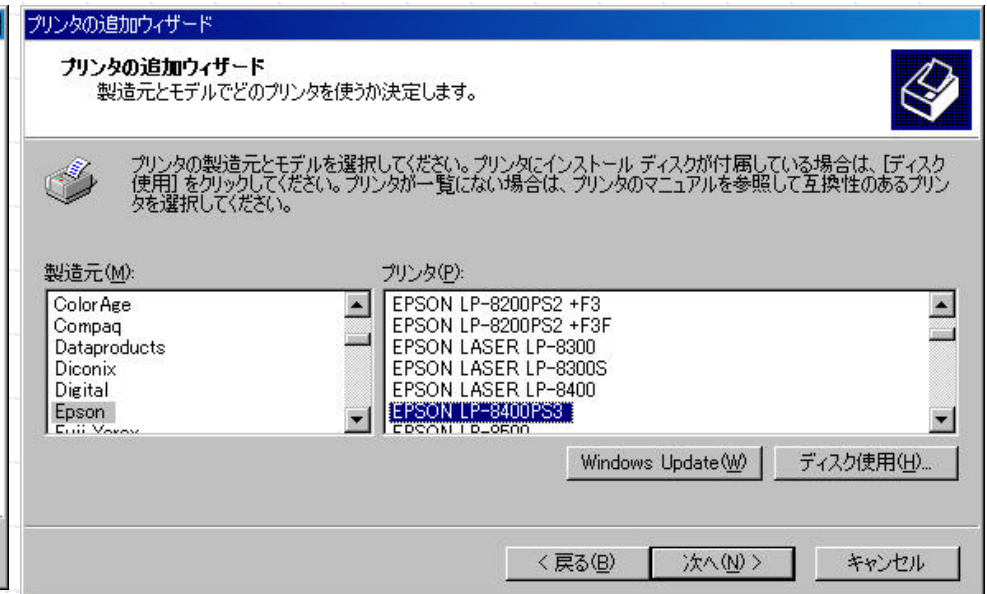
新しいポートの作成を選択。
Standard TCP/IP Portを選択。
次へ。



IPアドレス:172.21.88.101
ポート名:pr1
とする。



完了をクリック。



Epson LP-8400PS3を選択。次へ。

ドライバを入れた。

プリンタの追加ウィザード

プリンタ名
このプリンタに名前を書り当ててください。

このプリンタの名前を指定してください。一部のプログラムでは、32 文字以上のサーバーとプリンタ名の組み合わせはサポートされていません。

プリンタ名 (P):

Windows アプリケーションで、このプリンタを通常使うプリンタとして使いますか?

はい (Y)
 いいえ (N)

< 戻る (B) 次へ (N) > キャンセル

プリンタの追加ウィザード

プリンタ共有
このプリンタをほかのネットワーク ユーザーと共有できます。

このプリンタをほかのユーザーが利用できるかを指定します。このプリンタを共有するには共有名を指定する必要があります。

このプリンタを共有しない (N)
 共有する (Y):

< 戻る (B) 次へ (N) > キャンセル

プリンタ名は基本的に自由だが、
このままで。次へ。

次へ。

プリンタの追加ウィザード

テスト ページの印刷
テスト ページを印刷して、プリンタ セットアップを確認することができます。

テスト ページを印刷しますか?

はい (Y)
 いいえ (N)

ここでは、テストページを出さないで
おく。次へ。

< 戻る (B) 次へ (N) > キャンセル

プリンタの追加ウィザード

プリンタの追加ウィザードを完了しています

プリンタの追加ウィザードを完了しました。
プリンタには、次の設定が指定されました:

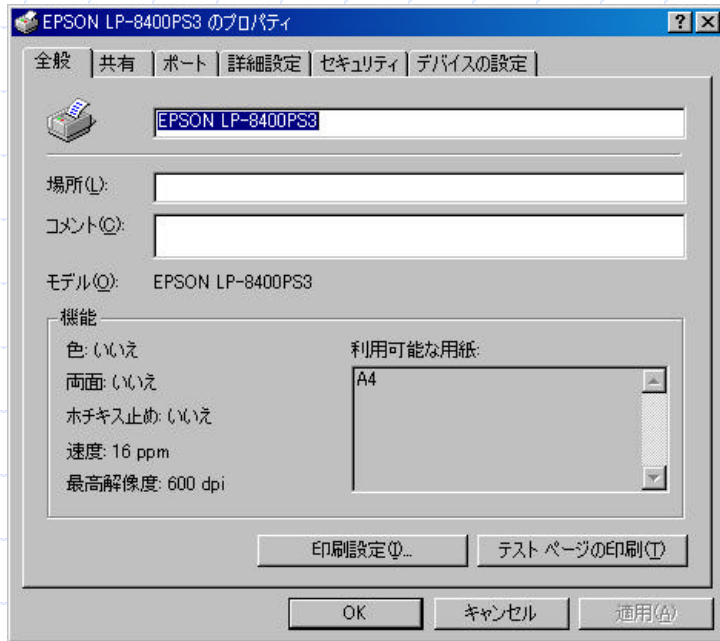
名前:	EPSON LP-8400PS3
共有:	<非共有>
ポート:	pr1
モデル:	EPSON LP-8400PS3
通常使う:	はい
テスト ページ:	いいえ

完了をクリック。

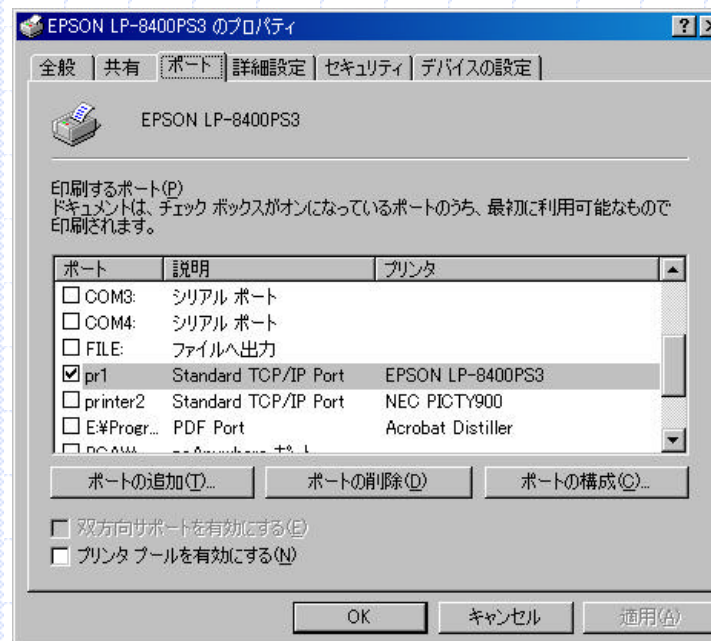
ウィザードを開じるには、[完了] をクリックしてください。

< 戻る (B) 完了 キャンセル

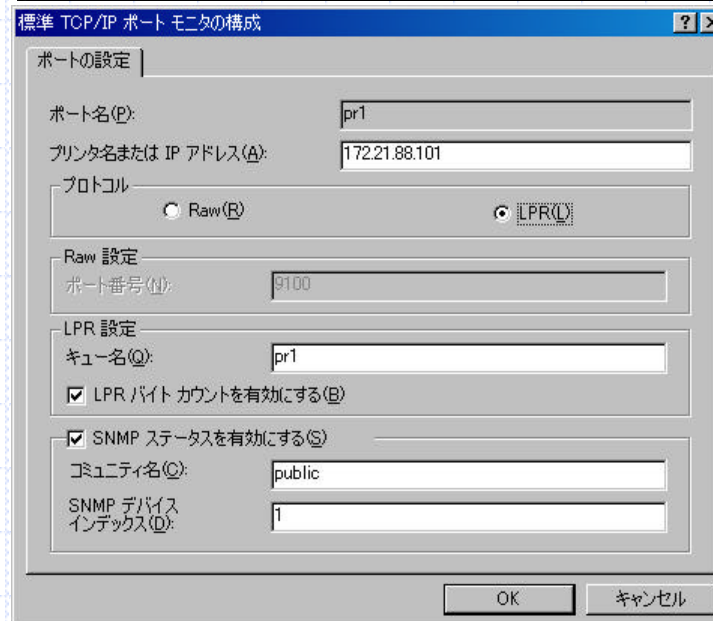
コントロールパネルのプリンタで、EPSON LP-8400PS3で、
右クリック。プロパティを選択。



バーの「ポート」を選択。



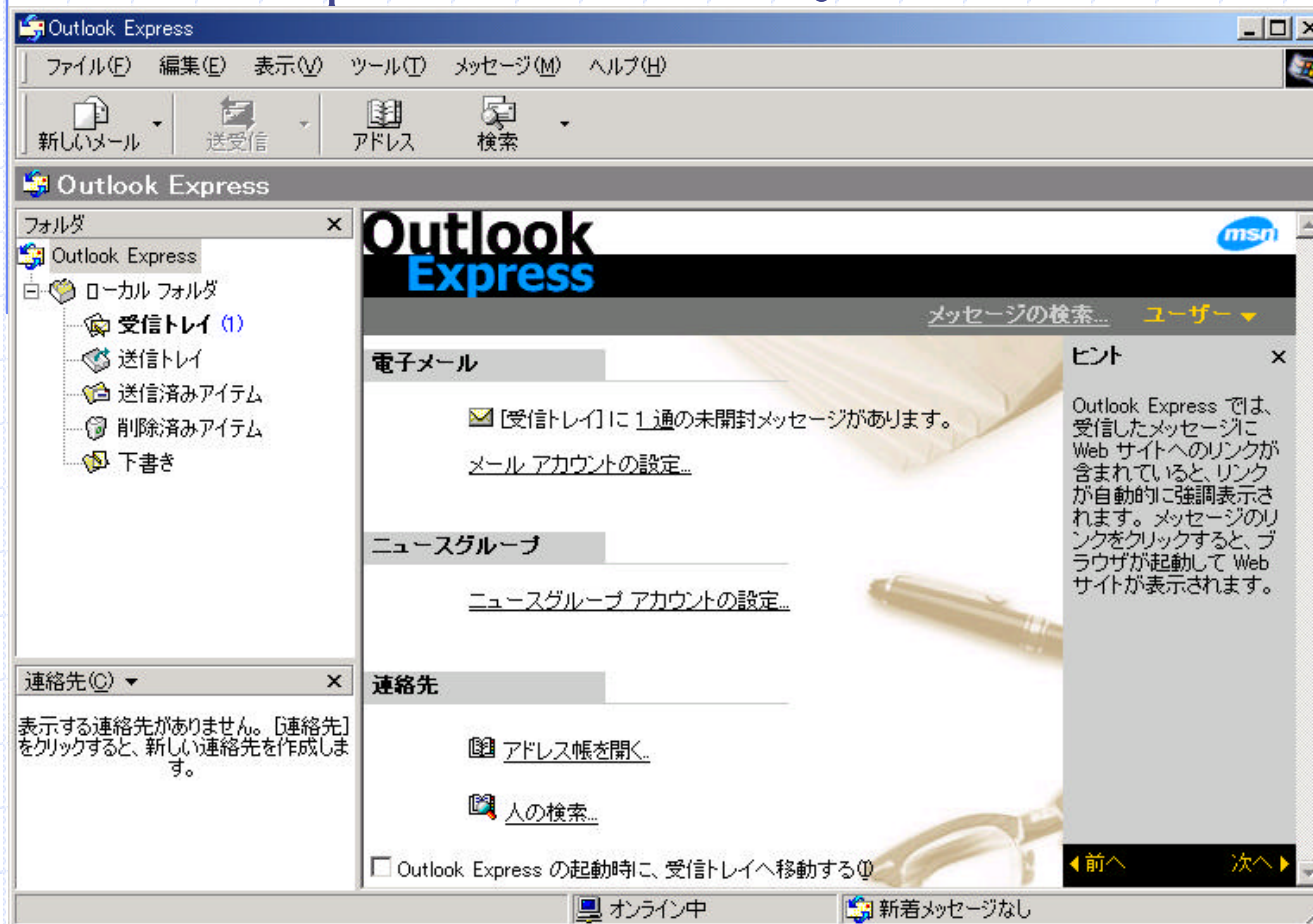
ポートの pr1
を選択して、
ポートの構成
をクリック。



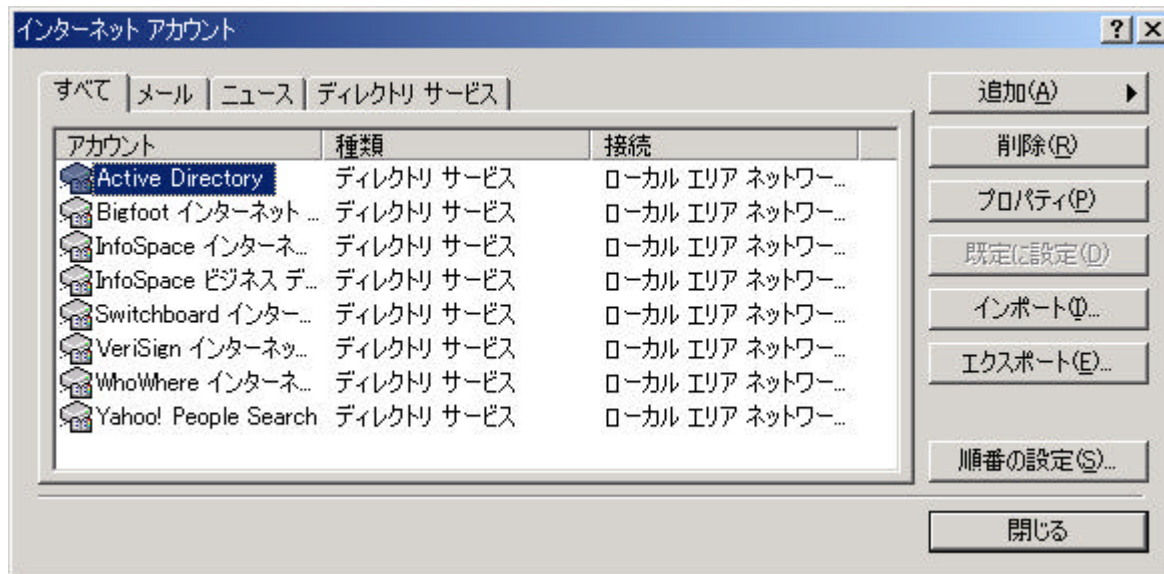
「LPRバイト
カウントを
有効にする」
にチェックを
入れる。

Outlook Expressの設定1

メールをWindowsから読み書きできるようにする。
Outlook Expressを立ち上げる。



「ツール」より
「アカウント」を
選択。



追加」より「メール」を選択



自分の名前を入力
次へ。

インターネット接続ウィザード

インターネット電子メール アドレス

電子メールのアドレスは、ほかのユーザーがあなたに電子メールを送信するために使います。

既存の電子メール アドレスを使用する(A)

電子メール アドレス(E):
例 : t-chofu@microsoft.com

新しいアカウントを作成する(S)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

既存の電子メールを使用。
自分のメールアドレスを入力。
次へ。

インターネット接続ウィザード

電子メール サーバー名

受信メール サーバーの種類(S)

受信メール (POP3、IMAP または HTTP) サーバー(Q):

SMTP サーバーは、電子メールを送信するときに使用するサーバーです。
送信メール (SMTP) サーバー(Q):

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

メールサーバーはPOP3。
受信メール及び送信メール
サーバー共に、
tube.ee.uec.ac.jp
と入力。

インターネット接続ウィザード

インターネット メール ログオン

インターネット サービス プロバイダから提供されたアカウント名およびパスワードを入力してください。

アカウント名(A):

パスワード(P):

パスワードを保存する(W)

メール アカウントをアクセスするときに、インターネット サービス プロバイダがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) を必要としている場合は [セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) を使用する] をオンにしてください。

セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) を使用する(S)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

Unixにログインするときの
パスワードを入力。
パスワードを保存するを
チェック。
次へ。

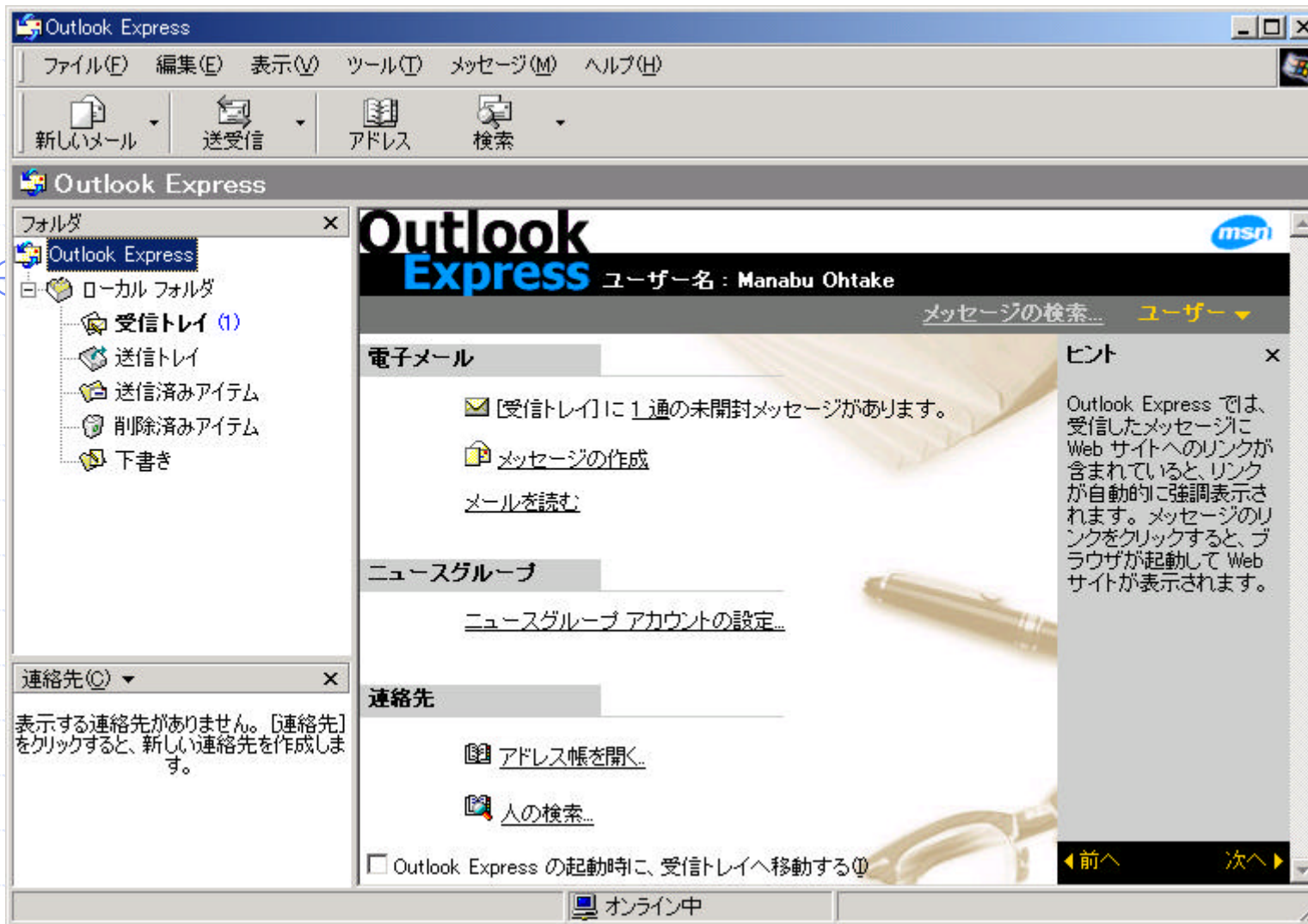
インターネット接続ウィザード

設定完了

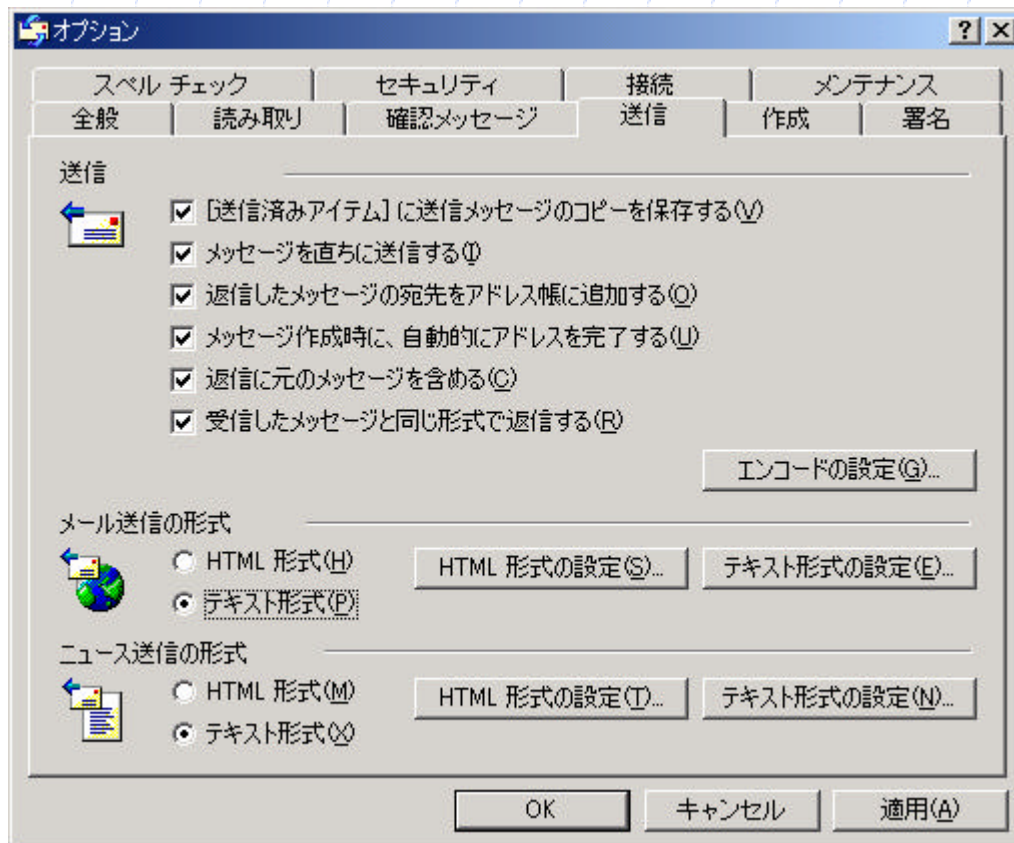
設定を完了するのに必要な情報がすべて入力されました。
これらの設定を保存するには、[完了] をクリックしてください。

< 戻る(B) **完了** キャンセル

完了をクリック。



ツールからオプションを選択



バーの「送信」を選択。
メール送信の形式を
「テキスト形式」を選択

OKをクリック。

UNIXユーザからは、HTML
形式のメールは読めない
ので、
テキスト形式を使う

以上で、Outlook Expressの設定は完了。